

日程表 1日目

ステーションコンファレンス東京 6F
2023年7月22日 (土)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00	開会挨拶 8:50~9:00 9:00~10:30		
	シンポジウム1 吸入療法 up to date 座長：保澤総一郎、若原 恵子 演者：滝沢 琢己、玉田 勉 近藤りえ子、放生 雅章	教育講演1 重症喘息の併存症 座長：権 寧博、朝子 幹也 演者：関谷 潔史、平野康次郎	一般演題1 生理学的検査 座長：黨 康夫、本間 哲也
10:00		教育講演2 10:00~10:50 サーカディアンリズムと喘息 座長：宮原 信明 演者：中尾 篤人	一般演題2 10:00~10:50 吸入療法 座長：原 丈介、横江 琢也
11:00	シンポジウム2 10:40~12:10 難治性喘息の多面性と治療戦略 座長：小屋 俊之、川山 智隆 演者：鈴木 真穂、松本 久子 谷口 正実、尾長谷 靖	教育講演3 11:00~11:50 トリプル製剤によるイニシャル治療の是非 (pro & con) 座長：長瀬 洋之、久田 剛志 演者：丸毛 聡、山田 英恵	一般演題3 11:00~11:50 生物学的製剤 I 座長：関谷 潔史、大田 進
12:00			
	ランチョンセミナー1 12:20~13:20 The meaning of clinical remission and impact of epithelial cytokines in severe asthma 座長：多賀谷悦子 演者：Mario Castro 共催：アストラゼネカ株式会社	ランチョンセミナー2 12:20~13:20 肺 MAC 症治療の新展開 ～アリケイブ吸入療法の実際～ 座長：相良 博典 演者：南宮 湖 共催：インスメッド合同会社	ランチョンセミナー3 12:20~13:20 私は Dupilumab をこう使う 座長：金廣 有彦 演者：黨 康夫、寺田 哲也 共催：サノフィ株式会社
13:00			
	World Asthma Day Symposium 13:30~15:00 -Unresolved Issues in Asthma- 座長：東田 有智、相良 博典 演者：Sang Heon Cho、Mario Castro 松本 久子、西藤 成雄	シンポジウム3 13:30~15:00 喘息及びその関連疾患の Year in Review 座長：檜澤 伸之、今井 孝成 演者：足立 雄一、高橋浩一郎 坂下 雅文	一般演題4 13:30~14:20 「生物学的製剤 II」 座長：尾長谷 靖、古賀 康彦
14:00			スポンサードレクチャー1 14:30~15:30 喘息/ACO/COPD 各最新ガイドラインに基づく横断的治療戦略 座長：佐野 博幸 演者：放生 雅章 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
15:00			
	シンポジウム4 15:10~16:40 喘息における炎症細胞研究の最前線 座長：永田 真、岡山 吉道 演者：平原 潔、植木 重治 中江 進、岡山 吉道	教育講演4 15:40~16:30 高齢者喘息の現状と将来展望 座長：中村 陽一、柚 知行 演者：岩本 博志、黨 康夫	教育講演5 15:40~16:30 重症喘息ケーススタディ (診療に苦慮した症例) 座長：斎藤 純平、高橋浩一郎 演者：金光 禎寛、木村 陽介、鶴巻 寛朗
16:00			
	イブニングセミナー1 16:50~17:50 喘息における臨床的寛解をめぐる議論と PGAM における定義 座長：福永 興壹 演者：長瀬 洋之 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社	イブニングセミナー2 16:50~17:50 慢性咳嗽診療における新展開 —慢性咳嗽におけるリフマア® の位置づけ— 座長：金子 猛 演者：石浦 嘉久 共催：杏林製薬株式会社	教育講演6 16:40~17:30 「ウイルス感染と喘息 最新の話題」 座長：金廣 有彦、吉原 重美 演者：長谷川俊史、神尾 敬子
17:00			

【7/22 会員懇親会】 開場 18:15 開宴 18:45 会場：ステーションコンファレンス東京 4階

日程表 2日目

ステーションコンファレンス東京 6F
2023年7月23日 (日)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00	<p>9:00~10:00</p> <p>モーニングセミナー1 mepolizumab がもたらす clinical remission を再考する 座長：堀口 高彦 演者：丸毛 聡 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社</p>	<p>9:00~10:00</p> <p>モーニングセミナー2 重症喘息における最適な気道管理とは？ 座長：井上 博雅 演者：知花 和行、中村 陽一 共催：サノフィ株式会社</p>	<p>9:00~9:50</p> <p>一般演題5 疫学 I 座長：佐野安希子、鶴巻 寛朗</p>
10:00	<p>10:10~11:10</p> <p>スポンサードレクチャー2 肺 MAC 症に対する ALIS ～喘息における生物学的製剤との類似点～ 座長：多賀谷悦子 演者：倉原 優 共催：インスメッド合同会社</p>	<p>10:10~11:10</p> <p>スポンサードレクチャー3 TSLP から紐解く重症喘息治療 座長：相良 博典 演者：坂上 拓郎 共催：アストラゼネカ株式会社</p>	<p>10:00~10:50</p> <p>一般演題6 生物学的製剤Ⅲ 座長：熱田 了、浅井 一久</p>
11:00	<p>11:20~12:10</p> <p>教育講演7 喘息診療実践ガイドライン 2023 初回解説 座長：東田 有智、玉置 淳 演者：佐野 博幸、相良 博典</p>	<p>11:20~12:10</p> <p>教育講演8 非2型炎症喘息の実態 座長：山崎 章、伊藤 理 演者：中込 一之、丸岡秀一郎</p>	<p>11:00~12:05</p> <p>一般演題7 基礎・管理 座長：石塚 全、國近 尚美</p>
12:00			
13:00	<p>12:30~13:30</p> <p>ランチョンセミナー4 ・TSLP 抑制が切り拓く重症喘息治療への新たなアプローチ ・今後の重症喘息治療戦略を考える 座長：東田 有智 演者：玉田 勉、堀口 高彦 共催：アストラゼネカ株式会社</p>	<p>12:30~13:30</p> <p>ランチョンセミナー5 喘息治療の現状と課題 座長：川山 智隆 演者：山田 英恵 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社</p>	<p>12:30~13:30</p> <p>ランチョンセミナー6 喘息治療の UP To Date 座長：横山 彰仁 演者：白井 敏博、長瀬 洋之 共催：ノバルティスファーマ株式会社</p>
14:00	<p>13:40~14:40</p> <p>特別プログラム 我が国の医療制度の行く先 座長：横山 彰仁 対談：猪口 雄二、東田 有智</p>	<p>13:40~14:40</p> <p>スポンサードレクチャー4 気管支喘息診療における基本と末梢気道病変の重要性 座長：福永 興吉 演者：岩永 賢司 共催：杏林製薬株式会社</p>	<p>13:40~14:30</p> <p>教育講演9 慢性咳嗽の最新知見 座長：金子 猛、新実 彰男 演者：松瀬 厚人、亀井 淳三</p>
15:00	<p>14:50~15:50</p> <p>喘息基礎的研究支援プログラム (2021 年度採択研究発表) 座長：宮原 信明 演者：中込 一之、肥後 寿夫 本間 哲也</p>	<p>14:50~15:50</p> <p>スポンサードレクチャー5 COVID-19 診療 Up to date —5 類以降後の対応の変化を含めて— 座長：相良 博典 演者：松本 哲哉 共催：MSD 株式会社</p>	<p>14:40~15:30</p> <p>一般演題8 生物学的製剤Ⅳ 座長：村木 正人、釣木澤尚実</p>
16:00	<p>16:00~17:30</p> <p>シンポジウム5 バイオ製剤のベストプラクティスを考える 座長：東田 有智、相良 博典 演者：権 寧博、原田 紀宏 田中 明彦</p>	<p>16:00~17:30</p> <p>シンポジウム6 アトピー型喘息の再考 (感作から自然経過まで) 座長：松瀬 厚人、吉原 重美 演者：松本 健治、山口 正雄 杣 知行、小屋 俊之</p>	<p>15:40~16:30</p> <p>一般演題9 疫学 II 座長：山口 史博、渡辺 徹也</p>
17:00			<p>16:40~17:30</p> <p>一般演題10 検査・症例 座長：渡邊 直人、鈴木慎太郎</p>

1 日目 7月22日(土)

7月22日(土)プログラム

第1会場

シンポジウム 1

7月22日(土) 9:00 ~ 10:30

SY1

「吸入療法 up to date」

座長：保澤 総一郎（広島アレルギー呼吸器クリニック）
若原 恵子（名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科）

SY1-1 小児の吸入療法

滝沢 琢己（群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野）

SY1-2 トリプル製剤の使い方

玉田 勉（東北大学大学院 医学系研究科 呼吸器内科学分野）

SY1-3 吸入指導のコツと新展開

近藤りえ子^{1,2}、堀口 高彦^{2,3}（近藤内科医院¹、藤田医科大学²、豊田地域医療センター³）

SY1-4 treatable traits と stepwise

放生 雅章（国立国際医療研究センター病院呼吸器内科）

シンポジウム 2

7月22日(土) 10:40 ~ 12:10

SY2

「難治性喘息の多面性と治療戦略」

座長：小屋 俊之（新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器感染症内科学分野）
川山 智隆（久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門）

SY2-1 難治性喘息の疫学

鈴川 真穂（国立病院機構 東京病院 アレルギー科）

SY2-2 フェノタイプとエンドタイプの臨床応用

松本 久子（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学教室）

SY2-3 EGPA の気道病変の特徴と治療戦略

谷口 正実（国立病院機構相模原病院 臨床研究センター）

SY2-4 アレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) の診療のポイント

尾長谷 靖（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科（第二内科））

ランチョンセミナー 1

7月22日(土) 12:20 ~ 13:20

LS1

The meaning of clinical remission and impact of epithelial cytokines in severe asthma

座長：多賀谷 悦子（東京女子医科大学 内科学講座 呼吸器内科学分野）
演者：Dr. Mario Castro, Chief, Division of Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine,
University of Kansas School of Medicine, US

共催：アストラゼネカ株式会社

特別プログラム

7月22日(土) 13:30～15:00

SP1

World Asthma Day Symposium - Unresolved Issues in Asthma -

Chair

Dr. Yuji TOHDA,

Director of Kindai University Hospital, Osaka, Japan

Dr. Hironori SAGARA,

Director of Showa University Hospital, Tokyo, Japan

Special lectures

Dr. Sang Heon Cho,

Professor of Medicine, Department of Internal Medicine, Seoul National University College of Medicine, Institute of Allergy and Clinical Immunology, Seoul National University Medical Research Center, Seoul, Korea.

Dr. Mario Castro,

L. E. Phillips and Lenora

Carr Phillips Professor,

Chief, Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine, Vice Chair for Clinical and Translational Research, Director, Frontiers Clinical and Translational Science Institute at the University of Kansas, University of Kansas School of Medicine, Kansas, US

Dr. Hisako MATSUMOTO,

Professor of Medicine, Department of Respiratory Medicine Allergology, Kindai University Faculty of Medicine

Dr Naruo SAITO,

Director of Saito Pediatrics Clinic for Respiratory Allergy of Children, Shiga, Japan

シンポジウム 4

7月22日(土) 15:10～16:40

SY4

「喘息における炎症細胞研究の最前線」

座長：永田 真（埼玉医科大学 医学部呼吸器内科）

岡山 吉道（みさと健和病院内科 アレルギー科）

SY4-1 病原性 T 細胞と異所性リンパ組織の相互作用による病態形成機構について

平原 潔（千葉大学大学院医学研究院免疫発生学）

SY4-2 好酸球集団の物性を評価する植木 重治¹、宮部 結¹、松脇 由典²（秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座¹、松脇クリニック品川²）**SY4-3 DAMP とアレルギー疾患**

中江 進（広島大学大学院統合生命科学研究科）

SY4-4 気管支喘息におけるマスト細胞と炎症細胞の相互作用

岡山 吉道（みさと健和病院内科アレルギー科、昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科部門、日本大学医学部呼吸器内科、群馬パース大学附属研究所先端医療科学研究センター）

イブニングセミナー 1

7月22日(土) 16:50～17:50

ES1

「喘息における臨床的寛解をめぐる議論と PGAM における定義」

座長：福永 興吉（慶應義塾大学医学部 内科学教室 呼吸器内科）

演者：長瀬 洋之（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

第2会場

教育講演 1

7月22日(土) 9:00～9:50

EL1

「重症喘息の併存症」

座長：権 寧博（日本大学医学部 呼吸器内科）

朝子 幹也（関西医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

EL1-1 NSAIDs 過敏喘息（N-ERD）

関谷 潔史（国立病院機構相模原病院 アレルギー・呼吸器科 / 臨床研究センター）

EL1-2 副鼻腔炎が喘息に与える影響

平野康次郎（昭和大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）

教育講演 2

7月22日(土) 10:00～10:50

EL2

「サーカディアンリズムと喘息」

座長：宮原 信明（岡山大学大学院 保健学研究科検査技術科学分野）

EL2 体内時計と喘息・アレルギー

中尾 篤人（山梨大学医学部免疫学講座）

教育講演 3

7月22日(土) 11:00～11:50

EL3

「トリプル製剤によるイニシャル治療の是非（pro & con）」

座長：長瀬 洋之（帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学）

久田 剛志（群馬大学大学院保健学研究科）

EL3-1 トリプル製剤によるイニシャル治療の是非 pros の立場から

丸毛 聡（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院）

EL3-2 トリプル製剤によるイニシャル治療の是非 con の立場から

山田 英恵（筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センター）

ランチョンセミナー 2

7月22日(土) 12:20～13:20

LS2

「肺 MAC 症治療の新展開 ～アリケイス吸入療法の実際～」

座長：相良 博典（昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門）

演者：南宮 湖（慶應義塾大学医学部感染症学教室）

共催：インスメッド合同会社

シンポジウム 3

7月22日(土) 13:30～15:00

SY3

「喘息及びその関連疾患の Year in Review」

座長：檜澤 伸之（筑波大学医学医療系 呼吸器内科）

今井 孝成（昭和大学 医学部小児科学教室）

SY3-1 喘息およびその関連疾患の Year in Review：小児喘息

足立 雄一（富山赤十字病院 小児アレルギーセンター）

SY3-2 成人喘息：Year in Review

高橋浩一郎（佐賀大学医学部附属病院呼吸器内科）

SY3-3 好酸球性副鼻腔炎の実際と臨床連携

坂下 雅文（福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

教育講演 4

7月22日(土) 15:40～16:30

EL4

「高齢者喘息の現状と将来展望」

座長：中村 陽一（横浜市立みなと赤十字病院 アレルギーセンター）
 杉 知行（埼玉医科大学 医学部呼吸器内科）

EL4-1 健康寿命延伸を見据えた喘息診療 —フレイルからの視点—

岩本 博志（広島大学大学院 医系科学研究科 分子内科学）

EL4-2 高齢者喘息への治療介入最適化のノウハウ

黨 康夫（国際医療福祉大学医学部呼吸器内科学）

イブニングセミナー 2

7月22日(土) 16:50～17:50

ES2

「慢性咳嗽診療における新展開 —慢性咳嗽におけるリフヌア® の位置づけ—

座長：金子 猛（横浜市立大学大学院 医学研究科 呼吸器病学）

演者：石浦 嘉久（関西医科大学総合医療センター 呼吸器腫瘍アレルギー内科）

共催：杏林製薬株式会社

第3会場

7
月
22
日
(土)
ア
プ
ロ
グ
ラ
ム

一般演題 1

7月22日(土) 9:00～9:50

○

「生理学的検査」

座長：黨 康夫（国際医療福祉大学医学部呼吸器内科学）

本間 哲也（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

- O-1 ICS 未治療喘息例における治療前後の FeNO 値を主とするバイオマーカーから予測される難治化因子の検討**
高橋 正光（たかはし内科）
- O-2 COPD に対する FeNO 測定の意義について**
金子 教宏（亀田京橋クリニック）
- O-3 強制オシレーション法を用いた呼吸抵抗測定における喘息コントロール不良を反映するパラメータの検討**
宮田 祐人、佐藤 奈緒、岩住衣里子、伊地知美陽、池田 均、江田 陽子、吉津 千慧、後藤 唯子、江波戸貴哉、賀嶋 絢佳、菅沼 宏充、山本 成則、松永 智宏、能條 眞、金子 佳右、三國 肇子、宇野 知輝、内田 嘉隆、眞鍋 亮、神野 恵美、大田 進、本間 哲也、渡部 良雄、楠本壮二郎、鈴木慎太郎、田中 明彦、相良 博典（昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門）
- O-4 スパイロメトリーと広域周波オシレーション法の気道可逆性試験における気道閉塞評価**
伊藤 光香^{1,2}、山根真由香²、岩部 直美²、辻 希美子²、佃 月恵²、高松 和史²、大西 広志²、横山 彰仁²（高知大学医学部医学科3年¹、高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科²）
- O-5 小学3年に対しスパイロメトリー検査を用いた実態調査**
吉原 伸弥、安藤 裕輔、寺師 義英、宮本 学、高柳 文貴、加藤 正也、中山 元子、吉原 重美（獨協医科大学病院）
- O-6 喘息の臨床的寛解達成はその後の1秒量経年低下抑制と関連しない**
長瀬 洋之^{1,2}、岩永 賢司²、田中 明彦²、齊藤 純平²、鈴木 真穂²、原田 紀宏²、小林このみ^{1,2}、増子 裕典²、町田健太郎²、檜澤 伸之²、井上 博雅²、中村 裕之²、東田 有智²、相良 博典²、大田 健³（帝京大学内科¹、環境再生保全機構調査研究班²、榎十字病院³）
- O-7 傾向スコアマッチング法による肥満が喘息患者に対する肺機能低下に与える影響の検討**
田代 宏樹、高橋 浩一郎（佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科）
- O-8 喘息患者における「咳音」「発声音」解析による呼吸機能と気道抵抗の予測に関する検討**
尾長谷 靖^{1,2}、入来 隼¹、深堀 範²、福島 千鶴^{2,3}、高園 貴弘^{1,2}、坂本 憲穂^{1,2}、高田 寛之⁴、松永 昭一⁵、迎 寛^{1,2}（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学¹、長崎大学病院 呼吸器内科²、長崎大学病院 臨床研究センター³、山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部⁴、長崎大学 情報データ科学部⁵）

一般演題 2

7月22日(土) 10:00～10:50

○

「吸入療法」

座長：原 丈介（金沢大学附属病院 呼吸器内科）

横江 琢也（昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科）

- O-10 気管支喘息患者に対する FF/UMEC/VI とホー吸入の効果**
常喜 栄太¹、廣瀬 正裕¹、廣地真理子¹、大野 齊毅¹、鬼頭 雄亮¹、吉田 隆純¹、桑原 和伸、堀口 高彦²、加藤 理恵子²、加藤 圭介²、近藤りえ子³（藤田医科大学医学部内科学ばんだね病院 呼吸器内科¹、豊田地域医療センター 呼吸器内科²、近藤内科医院³）
- O-11 既存治療で症状が残存する喘息患者に対する FF (200) /UMEC/VI 導入例の検討**
幸田 敬悟¹、豊嶋 幹生¹、森川 圭亮¹、須田 隆文²（浜松労災病院¹、浜松医科大学²）
- O-12 喘息患者の Small Airway Dysfunction に対するインダカテロール / グリコピロニウム / モメタゾン配合剤の効果**
櫻井 章吾¹、山本 雄也¹、藤田 侑美¹、白鳥晃太郎¹、鈴木 浩介¹、柴田 立雨¹、岸本祐太郎¹、三枝 美香¹、赤松 泰介¹、山本 輝人¹、森田 悟¹、朝田 和博¹、白井 敏博²（静岡県立総合病院 呼吸器内科¹、静岡県立総合病院²）
- O-13 喘息患者におけるトリプル製剤 (ICS/LAMA/LABA)、エナジア® 高用量とテリルジー® 200 の比較検討**
花田宗一郎^{1,2,3}、川端 慶之¹、山縣 俊之¹、長崎 忠雄¹、村木 正人¹、松本 久子²、東田 有智³（近畿大学奈良病院 呼吸器・アレルギー内科¹、近畿大学病院 呼吸器・アレルギー内科²、近畿大学病院³）

- O-14 未治療閉塞性肺疾患患者における Single-inhaler triple therapy 実態調査**
室橋 光太¹、原 悠¹、村岡 傑¹、平田 萌々¹、大津佑希子¹、久保 創介¹、長澤 遼¹、藤井 裕明¹、渡邊 恵介¹、小林 信明、金子 猛¹ (横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学教室¹)
- O-15 当院における閉塞性肺疾患患者における Single-inhaler triple therapy (SITT) 使用実態調査**
井澤 亜美、原 悠、村岡 傑、平田 萌々、大津佑希子、久保 創介、田中 克志、長澤 遼、室橋 光太、藤井 裕明、青木 絢子、渡邊 恵介、堀田 信之、小林 信明、金子 猛 (横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学)
- O-16 トリプル製剤使用閉塞性肺疾患患者における Treatable traits の臨床的意義について**
長澤 遼¹、原 悠¹、室橋 光太¹、平田 萌々¹、大津佑希子¹、渡邊 圭介¹、青木 絢子¹、藤井 裕明¹、久保 創介¹、村岡 傑¹、田中 克志¹、井澤 亜美¹、松本 大海¹、金子 彩美¹、染川 弘平¹、堀田 信之¹、小林 信明¹、工藤 誠²、金子 猛¹ (横浜市立大学大学院 医学研究科 呼吸器病学¹、横浜市立大学附属市民総合医療センター 呼吸器病センター²)
- O-9 「ホー吸入を含めた豊田吸入モデル」の展開**
近藤りえ子^{1,4,5}、榎本 尚人²、加納美代子⁵、平吹 広一³、加藤 研一^{4,5}、加藤 圭介^{4,5}、加藤理恵子^{4,5}、桑原 和伸⁴、廣瀬 正裕⁴、堀口 高彦^{4,5} (近藤内科医院¹、スギ薬局²、平吹医院³、藤田医科大学⁴、豊田地域医療センター⁵)

一般演題 3

7月22日(土) 11:00 ~ 11:50

○

「生物学的製剤 I」

座長：関谷 潔史 (国立病院機構 相模原病院 アレルギー呼吸器科 / 臨床研究センター)
大田 進 (昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門)

- O-24 デュピルマブによるコントロール不良の中等症から重症の2型喘息患者の喘息コントロールとQOLの改善**
多賀谷悦子¹、Busse WW²、Pavord ID³、Corren J⁴、Heffler E^{5,6}、Msihid J⁷、Radwan A⁸、Lederer DJ⁹、Hardin M⁹、Khan AH⁷、Jacob-Nara JA¹⁰、Deniz Y⁹、Rowe PJ¹⁰ (東京女子医科大学内科学講座 呼吸器内科学分野¹、University of Wisconsin School of Medicine and Public Health, Madison, WI, USA²、University of Oxford, UK³、UCLA David Geffen School of Medicine, Los Angeles, CA, USA⁴、Personalized Medicine, Asthma and Allergy IRCCS Humanitas Research Hospital, Rozzano (MI), Italy⁵、Humanitas University, Pieve Emanuele (MI), Italy⁶、Sanofi, Chilly-Mazarin, France⁷、Regeneron Pharmaceuticals, Inc., Tarrytown, NY, USA⁸、Sanofi, Cambridge, MA, USA⁹、Sanofi, Bridgewater, NJ, USA¹⁰)
- O-17 嚢胞性線維症に合併した気管支喘息に対しメポリズマブが有効であった一例**
草鹿砥るい¹、井上 大輔¹、山口 史博¹、近藤 智香¹、丁 一澤、神埼満美子¹、小林 仁¹、平田 健人¹、見代 健太¹、新 健史¹、中本 真理¹、山崎 洋平¹、楯野 英胤¹、横江 琢也¹、鹿間 祐介¹ (昭和大学藤が丘病院呼吸器内科¹)
- O-18 デュピルマブの導入により喘息コントロール改善を得た自閉症合併重症喘息児の一例**
岡本 薫^{1,2}、桑原 和伸³、杉田 晃¹、河野 透哉²、西本 早希²、水谷 公美²、森雄司²、中島 陽一¹、近藤 康人² (藤田医科大学医学部小児科¹、藤田医科大学ばんだね病院小児科²、藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科³)
- O-19 乳児期よりアトピー性皮膚炎を合併した難治性気管支喘息に対してデュピルマブが効果を示した18歳男性例**
寺師 義英、安藤 裕輔、吉原 伸弥、吉原 重美 (獨協医科大学)
- O-20 長期間ステロイド依存性であった重症喘息に対してデュピルマブが奏功した2例**
佐野安希子¹、西川 裕作¹、綿谷奈々瀬¹、岩永 賢司²、佐野 博幸¹、原口 龍太¹、東田 有智²、松本 久子¹ (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科¹、近畿大学病院²)
- O-21 Dupilumab が奏効したアレルギー性気管支肺真菌症の2例**
近藤 光子、有村 健、宮田 文、三好 梓、塩田 悠乃、鬼沢 史、赤羽 朋博、辻 真世子、八木 理充、桂 秀樹、多賀谷悦子 (東京女子医科大学呼吸器内科)
- O-22 併発した好酸球性胃腸障害に対してデュピルマブが有効だった重症喘息の1例**
鈴木慎太郎、能條 眞、岩住衣里子、寺師 義直、田中 明彦、相良 博典 (昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門)
- O-23 他の生物製剤からデュピルマブへ切り替えた重症喘息症例の検討**
肥後 寿夫^{1,7}、市川 裕久²、荒川裕佳子²、森 由弘²、板野 純子³、木村 五郎³、谷本 安³、三宅 剛平⁴、勝田 知也⁵、片岡 幹男⁶、宮原 信明¹ (岡山大学病院¹、KKR 高松病院²、NHO 南岡山医療センター³、NHO 姫路医療センター⁴、愛媛県立中央病院⁵、尾道市立市民病院⁶、香川労災病院⁷)

ランチョンセミナー 3

7月22日(土) 12:20～13:20

LS3

「私は Dupilumab をこう使う」

座長：金廣 有彦（姫路聖マリア病院 アレルギー疾患総合診療部門、岡山大学医学部医学科）

LS3-1 気管支喘息患者を俯瞰して選択する個別化・最適化された治療戦略

黨 康夫（国際医療福祉大学医学部 呼吸器内科学）

LS3-2 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の病態から紐解く Best Choice とは？

寺田 哲也（大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 アレルギーセンター）

共催：サノフィ株式会社

一般演題 4

7月22日(土) 13:30～14:20

0

「生物学的製剤 II」

座長：尾長谷 靖（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学）

古賀 康彦（群馬大学大学院医学系研究科 呼吸器・アレルギー内科）

O-31 当院における重症喘息患者に対するテゼペルマブの使用経験

放生 雅章、寺田 純子（国立国際医療研究センター呼吸器内科）

O-25 オマリズマブからの切り替え症例におけるメボリズマブ治療効果の検討

小松亜里紗¹、笹野 仁史¹、原田 紀宏¹、佐藤 良彦¹、三道ユウキ¹、田辺 悠記¹、原田 園子²、神後 宏一¹、大熊 智子¹、渡邊 敬康¹、加藤由香里¹、西牧 孝泰¹、安部寿美子¹、上田 翔子¹、後藤 愛¹、竹重 智仁¹、松野 圭¹、伊藤 潤¹、長岡鉄太郎¹、熱田 了¹、高橋 和久¹（順天堂大学医学部呼吸器内科学講座¹、順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター²）

O-26 重症喘息に対するメボリズマブの治療効果と薬物血中濃度の検討

西牧 孝泰¹、原田 紀宏¹、笹野 仁史¹、大内 麻由³、原田 園子^{1,2}、佐藤 良彦¹、加藤由香里¹、安部寿美子¹、上田 翔子¹、三道ユウキ¹、田辺 悠記¹、伊藤 潤¹、熱田 了¹、柳下 薫寛³、濱田 哲暢³、高橋 和久¹（順天堂大学医学部呼吸器内科学講座¹、順天堂大学アトピー疾患研究センター²、国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野³）

O-27 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）に対する Mepolizumab 投与後の寛解導入における検証

増本 菜美^{1,2}、山下 優雅¹、仲出川 諒¹、増満日菜子¹、長田怜永子¹、高安 宏和¹、金子 猛²、釣木澤尚実^{1,2}（NHO 横浜医療センター 呼吸器内科¹、横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学²）

O-28 高齢者喘息患者におけるベンラリズマブの有効性と安全性の検討

染川 弘平¹、渡邊 恵介¹、村岡 傑¹、金子 彩美¹、大津佑希子¹、平田 萌々¹、井澤 亜美¹、久保 創介¹、田中 克志¹、長澤 遼¹、関 健一²、室橋 光太¹、藤井 裕明¹、青木 絢子¹、堀田 信之¹、原 裕¹、小林 信明¹、工藤 誠²、金子 猛¹（横浜市立大学附属病院¹、横浜市立大学附属市民総合医療センター²）

O-29 当院で重症喘息に対してベンラリズマブを投与した Th17 高値の症例についての検討

上田 翔子¹、原田 紀宏¹、三道ユウキ¹、笹野 仁史¹、田辺 悠記¹、原田 園子^{1,2}、神後 宏一¹、大熊 智子¹、渡邊 敬康¹、佐藤 良彦¹、加藤由香里¹、西牧 孝泰¹、安部寿美子¹、後藤 愛¹、竹重 智仁¹、松野 圭¹、伊藤 潤¹、高橋 和久¹（順天堂大学医学部呼吸器内科学講座¹、順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター²）

O-30 当科におけるベンラリズマブ使用の現状

池田 直哉^{1,2}、清水 泰生^{1,2}、佐藤 悠¹、塚田 伸彦¹、塚田 梓¹、九嶋 祥友¹、中村 祐介¹、奥富 泰明¹、新井 良¹、武政 聡浩^{1,2}、仁保 誠治¹（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科¹、獨協医科大学呼吸器内視鏡センター²）

O-32 抗 T S L P モノクローナル抗体製剤テゼペルマブの難治性喘息に対する効果

加藤 圭介¹、加藤理恵子¹、加藤 研一²、鬼頭 雄亮²、大野 斉毅²、吉田 隆純²、桑原 和伸²、廣瀬 正裕²、近藤りえ子³、堀口 高彦^{1,2}（豊田地域医療センター¹、藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科²、近藤内科医院³）

スポンサードレクチャー 1

7月22日(土) 14:30～15:30

SL1

「喘息/ACO/COPD 各最新ガイドラインに基づく横断的治療戦略」

座長：佐野 博幸（近畿大学病院 アレルギーセンター 呼吸器・アレルギー内科）

演者：放生 雅章（国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

教育講演 5

7月22日(土) 15:40～16:30

EL5

「重症喘息ケーススタディ（診療に苦慮した症例）」

座長：斎藤 純平（福島県立医科大学医学部 呼吸器内科学講座）

高橋 浩一郎（佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科）

EL5-1 夜間のみ増悪する呼吸困難が遷延する2型喘息の1例

鈴木 達朗、金光 禎寛、新實 彰男（名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学）

EL5-2 Non T2 重症喘息 症例

木村 陽介、小屋 俊之（新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器感染症内科学分野）

EL5-3 生物学的製剤を含む治療下に中枢性と末梢性の気管支粘液栓を認めたアレルギー性気管支肺アスペルギルス症

鶴巻 寛朗¹、久田 剛志²（群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科¹、群馬大学大学院保健学研究科²）

教育講演 6

7月22日(土) 16:40～17:30

EL6

「ウイルス感染と喘息 最新の話題」

座長：金廣 有彦（姫路聖マリア病院）

吉原 重美（獨協医科大学 小児科学）

EL6-1 小児気管支喘息とウイルス感染症 ～RSウイルスとインフルエンザウイルスを中心に～

長谷川俊史（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

EL6-2 気道ウイルス感染症の成人喘息増悪と喘息病態悪化への関与

神尾 敬子（九州大学病院 呼吸器科）

2日目 7月23日(日)

第1会場

7月23日(日)プログラム

モーニングセミナー 1

7月23日(日) 9:00～10:00

MS1

「mepolizumab がもたらす clinical remission を再考する」

座長：堀口 高彦（豊田地域医療センター・藤田医科大学）

演者：丸毛 聡（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 呼吸器内科）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

スポンサードレクチャー 2

7月23日(日) 10:10～11:10

SL2

「肺 MAC 症に対する ALIS ～喘息における生物学的製剤との類似点～」

座長：多賀谷 悦子（東京女子医科大学内科学講座 呼吸器内科学分野）

演者：倉原 優（国立病院機構近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター 感染予防研究室）

共催：インスメッド合同会社

教育講演 7

7月23日(日) 11:20～12:10

EL7

「喘息診療実践ガイドライン 2023 初回解説」

座長：東田 有智（近畿大学病院）

玉置 淳（東京女子医科大学 呼吸器内科学講座）

EL7-1 診断と評価

佐野 博幸（近畿大学病院アレルギーセンター）

EL7-2 喘息治療の方向性

相良 博典（昭和大学医学部 内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門）

ランチョンセミナー 4

7月23日(日) 12:30～13:30

LS4

座長：東田 有智（近畿大学病院）

LS4-1 TSLP 抑制が切り拓く 重症喘息治療への新たなアプローチ

玉田 勉（東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野）

LS4-2 今後の重症喘息治療戦略を考える

堀口 高彦（公益財団法人 豊田地域医療センター・藤田医科大学）

共催：アストラゼネカ株式会社

特別プログラム

7月23日(日) 13:40～14:40

SP2

我が国の医療制度の行く先

座長：横山 彰仁（高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室）

対談：猪口 雄二（日本医師会副会長）

東田 有智（近畿大学病院 病院長）

喘息基礎的研究支援プログラム（2021年度採択研究発表）

7月23日（日）14:50～15:50

座長：宮原 信明（岡山大学学術研究院保健学域検査技術科学分野生体情報科学領域）

- 1 ケモカイン CCL2 抑制能を強化した間葉系幹細胞によるアレルギー性気道反応抑制効果の検討**
肥後 寿夫^{1,2}、中村 尚季²、尾関 太一²、角南 良太²、北添 智規³、山元 修成³、中山 享之⁴、宮原 信明^{1,3}（岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科¹、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内科学分野²、岡山大学大学院 保健学研究科検査技術科学分野³、愛知医科大学 中央臨床検査部⁴）
- 2 抗ウイルス性サイトカイン interferon- λ のマウス好酸球性気道炎症に対する効果**
中込 一之、永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科・アレルギーセンター）
- 3 ウイルスによるヒト気道上皮細胞における細胞間接着因子の発現と制御**
本間 哲也、岡崎 朋子、三國 肇子、桑原 直太、福田 陽佑、大田 進、山本 真弓、井上 英樹、田中 明彦、相良 博典（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

シンポジウム 5

7月23日（日）16:00～17:30

SY5

「バイオ製剤のベストプラクティスを考える」

座長：東田 有智（近畿大学病院）

相良 博典（昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門）

- SY5-1 フェノタイプから考える重症喘息の治療戦略**
権 寧博（日本大学医学部 呼吸器内科）
- SY5-2 バイオ製剤選択のベストプラクティスを考える**
原田 紀宏（順天堂大学医学部内科学教室 呼吸器内科学講座）
- SY5-3 治療目標（寛解）**
田中 明彦（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

第2会場

モーニングセミナー 2

7月23日（日）9:00～10:00

MS2

「重症喘息における最適な気道管理とは？」

座長：井上 博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学）

- MS-1 Dupilumab による呼吸機能改善効果ともたらされる臨床的ベネフィット**
知花 和行（獨協医科大学日光医療センター 呼吸器内科）
- MS-2 好酸球性気道炎症と呼吸機能の管理 ～臓器過敏性から再考する～**
中村 陽一（横浜市立みなと赤十字病院 アレルギーセンター）
共催：サノフィ株式会社

スポンサードレクチャー 3

7月23日（日）10:10～11:10

SL3

「TSLP から紐解く重症喘息治療」

演者：相良 博典（昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門）

演者：坂上 拓郎（熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学講座）

共催：アストラゼネカ株式会社

教育講演 8

7月23日(日) 11:20～12:10

EL8

「非2型炎症喘息の実態」

座長：山崎 章（鳥取大学医学部附属病院 呼吸器・膠原病内科）

伊藤 理（愛知医科大学 内科学講座 呼吸器・アレルギー内科）

EL8-1 非2型炎症的側面

中込 一之（埼玉医科大学呼吸器内科・アレルギーセンター）

EL8-2 喘息の心身症的側面

丸岡秀一郎（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野）

ランチョンセミナー 5

7月23日(日) 12:30～13:30

LS5

「喘息治療の現状と課題」**病態から考察する今後の喘息治療～ Single Inhaled Triple Therapy の位置づけ～**

座長：川山 智隆（久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門）

演者：山田 英恵（筑波大学 医学医療系 呼吸器内科、筑波大学附属病院、

ひたちなか社会連携教育研究センター）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

スポンサードレクチャー 4

7月23日(日) 13:40～14:40

SL4

「気管支喘息診療における基本と末梢気道病変の重要性」

座長：福永 興吉（慶應義塾大学医学部 呼吸器内科）

演者：岩永 賢司（近畿大学病院総合医学教育研修センター）

共催：杏林製薬株式会社

スポンサードレクチャー 5

7月23日(日) 14:50～15:50

SL5

「COVID-19 診療 Up to date —5類以降後の対応の変化を含めて—」

座長：相良 博典（昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門）

演者：松本 哲也（国際医療福祉大学医学部 感染症学講座）

共催：MSD 株式会社

シンポジウム 6

7月23日(日) 16:00～17:30

SY6

「アトピー型喘息の再考（感作から自然経過まで）」

座長：松瀬 厚人（東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科）

吉原 重美（獨協医科大学小児科学）

SY6-1 喘息の発症と感作

松本 健治（国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部）

SY6-2 感作と喘息（成人）

山口 正雄（帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（呼吸器））

SY6-3 喘息におけるアレルゲン免疫療法の臨床的有用性

杉 知行（埼玉医科大学呼吸器内科、アレルギーセンター、予防医学センター）

SY6-4 免疫療法の新たなメカニズム

小屋 俊之、奈良 本駿、木村 陽介、菊地 利明（新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器感染症内科学分野）

第3会場

一般演題 5

7月23日(日) 9:00～9:50

○

「疫学Ⅰ」

座長：佐野 安希子（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科）

鶴巻 寛朗（群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科）

0-33 昭和大学新カリキュラムにおける基礎医学・臨床医学ジョイント講義による重症・難治性喘息に関する卒前教育

鈴木慎太郎¹、能條 眞¹、内田 嘉隆¹、眞鍋 亮¹、楠本壮二郎¹、田中 明彦¹、相良博典¹、肥田 典子²（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門¹、昭和大学薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門²）

0-34 5年以上持続する慢性咳嗽患者の背景因子について

佐藤 奈緒、田中 明彦、賀嶋 絢佳、宇野 知輝、三國 馨子、内田 嘉隆、眞鍋 亮、神野 恵美、宮田 祐人、大田 進、渡部 良雄、楠本壮二郎、鈴木慎太郎、相良 博典（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

0-35 日本慢性咳嗽診療実態多施設共同前向き観察研究でのアレルギー性咳嗽の重要性の検討

石浦 嘉久¹、藤村 政樹²、小川 晴彦³、原 丈介⁴、新谷 博元⁵、保澤総一郎⁶、熱田了⁷、村木 正人⁸、塩谷 隆信⁹、雨宮 徳直¹⁰、新実 彰男¹¹（関西医科大学 内科学第一講座¹、国立病院機構七尾病院 呼吸器内科²、金沢春日クリニック³、金沢大学附属病院 呼吸器内科⁴、しんたに医院⁵、広島アレルギー呼吸器クリニック⁶、秋葉原あつたアレルギー呼吸器内科クリニック⁷、近畿大学奈良病院 呼吸器内科⁸、市立角館総合病院 呼吸器内科⁹、あめみや内科¹⁰、名古屋市立大学 呼吸器・免疫アレルギー内科¹¹）

0-36 長時間作用型β₂刺激剤吸入療法における副作用の検討

上村 光弘、御子柴颯季、安部由希子、塚本 香純、土屋 麻耶、毛利 篤人、小田 未来、山名 高志（国立病院機構災害医療センター）

0-37 乳幼児喘息の診断と治療に関する医師に対するアンケート調査

加藤 正也、吉原 重美（獨協医科大学医学部小児科学）

0-38 喘息アンケート調査による Dysfunctional Breathing の解析

小屋 俊之¹、奈良本 駿¹、木村 陽介¹、長谷川隆志²、菊地 利明¹（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器感染症内科学分野¹、新潟大学医歯学総合病院²）

0-39 川越市調剤薬局へのアンケート調査から示される喘息 / 慢性閉塞性肺疾患の吸入指導の現状と課題

坂井 浩佑¹、天野 勉²、阿部 公俊^{1,3}、石井 繁¹、横須賀 伸¹、川野悠一郎¹、高橋智之¹、西村 博明¹、桑原 由樹¹、佐々木麻衣子¹、小川由美子¹、菊池 聡¹、平田 優介¹、教山 紘之¹、森山 岳¹、小山 信之¹、植松 和嗣¹（埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科¹、川越市薬剤師会²、東京大学医学部附属病院 老年病科³）

0-40 気管支喘息と COVID-19 の関係性：全国多施設データベースによる評価

塚田 晃成、寺田 純子、草場 勇作、石田あかね、鈴木 学、仲 剛、高崎 仁、軒原 浩、泉 信有、放生 雅章、杉山 温人（国立国際医療研究センター病院）

一般演題 6

7月23日(日) 10:00～10:50

○

「生物学的製剤Ⅲ」

座長：熱田 了（秋葉原あつたアレルギー呼吸器内科クリニック）

浅井 一久（大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学）

0-41 当院においてデュピルマブを使用した気管支喘息症例の検討

妹尾 賢^{1,2,3}、肥後 寿夫^{1,3}、中村 尚季³、角南 良太³、尾関 太一³、谷口 暁彦^{1,2}、宮原 信明^{1,4}（岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科¹、国立病院機構福山医療センター内科²、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内科学³、岡山大学大学院保健学研究科 検査技術科学分野⁴）

0-42 重症気管支喘息患者におけるデュピルマブの治療効果に関する検討

安部寿美子¹、原田 紀宏¹、三道ユウキ¹、笹野 仁史¹、田辺 悠記¹、原田 園子^{1,2}、後藤 愛¹、渡邊 敬康¹、佐藤 良彦¹、神後 宏一¹、大熊 智子¹、西牧 孝泰¹、加藤由香里¹、上田 翔子¹、伊藤 潤¹、高橋 和久¹（順天堂大学医学部呼吸器内科学講座¹、順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター²）

- O-43 重症喘息のデュピルマブ治療における Responder の背景因子の検討：iPOT4R 多施設共同研究**
水村 賢司¹、權 寧博¹、山田 志保¹、福田麻佐美¹、丸岡秀一郎¹、正木 克宜²、福永興彦²、原田 紀宏³、高橋 和久³、田中 明彦⁴、相良 博典⁴、小林このみ⁵、長瀬 洋之⁵、宮原 信明⁶、赤松 泰介⁷、白井 敏博⁷、金廣 有彦⁸、北村 登⁹、杉原 徳彦⁹、寺田 純子¹⁰、放生 雅章¹⁰、知花 和行¹¹、熊澤 文雄¹²、多賀谷悦子¹³ (日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野¹、慶應義塾大学医学部呼吸器内科²、順天堂大学医学部内科学教室呼吸器内科学講座³、昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門⁴、帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学⁵、岡山大学保健学研究科検査技術科学分野⁶、静岡県立総合病院 呼吸器内科⁷、社会医療法人財団 聖フランシスコ会姫路聖マリア病院呼吸器内科⁸、医療法人社団仁友会 仁友クリニック⁹、国立国際医療研究センター病院呼吸器内科¹⁰、獨協医科大学日光医療センター呼吸器内科¹¹、医療法人社団博栄会赤羽中央総合病院呼吸器内科¹²、東京女子医科大学呼吸器内科学講座¹³)
- O-44 重症喘息におけるデュピルマブの効果予測因子としてのFeNOと血中好酸球数の有用性：iPOT4R 多施設共同研究**
水村 賢司¹、權 寧博¹、山田 志保¹、福田麻佐美¹、丸岡秀一郎¹、正木 克宜²、福永興彦²、原田 紀宏³、高橋 和久³、田中 明彦⁴、相良 博典⁴、小林このみ⁵、長瀬 洋之⁵、宮原 信明⁶、赤松 泰介⁷、白井 敏博⁷、金廣 有彦⁸、北村 登⁹、杉原 徳彦⁹、寺田 純子¹⁰、放生 雅章¹⁰、知花 和行¹¹、熊澤 文雄¹²、多賀谷悦子¹³ (日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野¹、慶應義塾大学医学部呼吸器内科²、順天堂大学医学部内科学教室呼吸器内科学講座³、昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門⁴、帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学⁵、岡山大学保健学研究科検査技術科学分野⁶、静岡県立総合病院 呼吸器内科⁷、社会医療法人財団 聖フランシスコ会姫路聖マリア病院呼吸器内科⁸、医療法人社団仁友会 仁友クリニック⁹、国立国際医療研究センター病院呼吸器内科¹⁰、獨協医科大学日光医療センター呼吸器内科¹¹、医療法人社団博栄会赤羽中央総合病院呼吸器内科¹²、東京女子医科大学呼吸器内科学講座¹³)
- O-45 重症喘息の喀痰症状と呼吸機能に対するデュピルマブの効果：iPOT4R 多施設共同研究**
鹿野 壮太郎¹、水村 賢司¹、權 寧博¹、正木 克宜²、福永 興彦²、原田 紀宏²、田中 明彦²、小林このみ²、長瀬 洋之²、宮原 信明²、赤松 泰介²、白井 敏博²、金廣 有彦²、杉原 徳彦²、北村 登²、熊澤 文雄²、寺田 純子²、放生 雅章²、知花 和行²、多賀谷悦子² (日本大学医学部呼吸器内科¹、iPOT4R 共同研究班²)
- O-46 デュピルマブ導入前後での気道壁肥厚及び粘液栓の検討**
小屋 俊之¹、村井 裕衣¹、奈良本 駿¹、木村 陽介¹、長谷川隆志²、菊地 利明¹ (新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器感染症内科学分野¹、新潟大学医歯学総合病院医科総合診療科²)
- O-47 RAPID レジストリにおけるデュピルマブを開始した喘息患者の特徴**
權 寧博¹、Njira L. Lugogo²、Xavier Soler³、Anju T. Peters⁴、Andréanne Côté⁵、Ole Hilberg⁶、Changming Xia³、Lucía de Prado Gómez⁷、Paul J. Rowe⁸、Amr Radwan³、Juby A. Jacob-Nara⁹、Yamo Deniz⁹ (日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野¹、University of Michigan, Ann Arbor, MI, USA²、Regeneron Pharmaceuticals, Inc., Tarrytown, NY, USA³、Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, IL, USA⁴、Quebec Heart and Lung Institute – Laval University, Quebec, QC, CA⁵、Lillebaelt Hospital, Vejle, DK⁶、Sanofi, Madrid, Spain⁷、Sanofi, Bridgewater, NJ, USA⁸、Regeneron Pharmaceuticals⁹)
- O-48 呼気一酸化窒素の早期低下を伴う喘息患者におけるデュピルマブの治療効果について**
中村 陽一¹、Pavord ID²、Wechsler ME³、Busse WW⁴、Domingo C⁵、Xia C⁶、Gall R⁶、Pandit-Abid N⁷、Jacob-Nara JA⁷、Radwan A⁶、Rowe PJ⁷、Deniz Y⁶ (横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター¹、University of Oxford, UK²、National Jewish Health, Denver, CO, USA³、University of Wisconsin School of Medicine and Public Health, Madison, WI, USA⁴、Autonomous University of Barcelona, Spain⁵、Regeneron Pharmaceuticals, Inc, NY, USA⁶、Sanofi, NJ, USA⁷)

一般演題 7

7月23日(日) 11:00～12:05



「基礎・管理」

座長：石塚 全 (福井大学医学系部門 内科学 (3) 分野)
國近 尚美 (山口赤十字病院 呼吸器内科)

- O-49 気管支平滑筋収縮をトリガーとする咳嗽におけるアラキドン酸代謝経路の関与**
武田 仁浩、原 文介、古林 崇史、大倉 徳幸、阿保 未来、矢野 聖二 (金沢大学附属病院 呼吸器内科)
- O-50 アレルギー性気道炎症においてムスカリン M3 受容体は M2 マクロファージへの分化に関与している**
大田 進、神野 恵美、田中 明彦、池田 均、江波戸貴哉、三國 肇子、宇野 知輝、内田 嘉隆、眞鍋 亮、宮田 祐人、本間 哲也、鈴木慎太郎、相良 博典 (昭和大学 呼吸器・アレルギー内科)

- O-51 ヒト好塩基球活性化に対する IgE 依存性刺激とケモカイン相互の影響**
山口 正雄¹、瀧野 力也²、森 美紀³、鈴木 真穂⁴、飯倉 元保⁵、長瀬 洋之³、白神 梨沙¹、會田 啓介¹、萩谷 政明¹ (帝京大学ちば総合医療センター 第三内科 (呼吸器)¹、西神戸医療センター呼吸器内科²、帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科³、国立病院機構東京病院臨床研究部⁴、藤沢市民病院呼吸器内科⁵)
- O-52 オゾンが粒子状大気汚染物質の IL-8 産生に与える影響**
渡部 仁成、倉井 淳 (元町病院)
- O-53 血中 CXCR5+ 濾胞性ヘルパー T 細胞の比率は好酸球性気道炎症による閉塞性障害の程度を反映する**
佃 月恵、辻 希美子、西森 朱里、伊藤 孟彦、小林 由佳、鈴木 太郎、横山 彰仁 (高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学)
- O-54 病院待合での吸入支援ビデオ視聴による支援普及の試み**
三木 真理 (徳島県鳴門病院 内科)
- O-55 喘息患者におけるデバイス別にみた吸入手技の比較検討**
岩永 賢司¹、佐野安希子²、佐野 博幸³、原口 龍太²、松本 久子²、東田 有智⁴ (近畿大学病院総合医学教育研修センター¹、近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科²、近畿大学病院アレルギーセンター³、近畿大学病院⁴)
- O-56 吸入ステロイド薬未使用喘息患者の重症増悪発症率～ランダム化比較試験の解析～**
乾 元気¹、富田 桂公²、原田 智也¹、山崎 章¹ (鳥取大学医学部附属病院呼吸器・膠原病内科¹、独立行政法人国立病院機構米子医療センター呼吸器内科²)
- O-57 アレルギー性肺疾患に対する気管支鏡検査の喘息発作リスクについての検討**
山本 成則、楠本壮二郎、佐藤 奈緒、伊地知美陽、岩住衣里子、池田 均、江田 陽子、吉津 千慧、後藤 唯子、江波戸貴哉、賀嶋 絢佳、菅沼 宏充、金子 佳右、松永 智宏、能條 眞、宇野 知輝、三國 肇子、内田 嘉隆、神野 恵美、宮田 祐人、大田 進、鈴木慎太郎、田中 明彦、相良 博典 (昭和大学病院 呼吸器・アレルギー内科)

ランチョンセミナー 6

7月23日(日) 12:30～13:30

LS6

「喘息治療の UP To Date」

座長：横山 彰仁 (高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室)

- LS6-1 トータルコントロールをめざす喘息治療戦略 ～エナジアブリーズヘラーの活かし方～**
白井 敏博 (静岡県立総合病院呼吸器内科)
- LS6-2 IgE 標的治療のポジショニングを再考する**
長瀬 洋之 (帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学)
共催：ノバルティスファーマ株式会社

教育講演 9

7月23日(日) 13:40～14:30

EL9

「慢性咳嗽の最新知見」

座長：金子 猛 (横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学)

新実 彰男 (名古屋市立大学大学院医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学)

- EL9-1 臨床的立場から**
松瀬 厚人 (東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科)
- EL9-2 慢性咳嗽病態でみられる咳感受性亢進と P2X3 受容体**
亀井 淳三 (順天堂大学健康総合科学先端研究機構)

一般演題 8

7月23日(日) 14:40～15:30

○

「生物学的製剤Ⅳ」

座長：村木 正人 (近畿大学奈良病院 呼吸器アレルギー内科)

釣木澤 尚実 (独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 呼吸器内科)

- O-58 テゼベルマブ初回投与で著効した重症喘息症例**
渡邊 直人^{1,2} (聖隷横浜病院¹、東京アレルギー・呼吸器疾患研究所²)
- O-59 重症喘息を契機に IgG4 関連疾患と診断しテゼベルマブを投与した症例**
木村 侑子^{1,2} (天の川病院リウマチ膠原病センター¹、おがわクリニック²)

- O-60 花粉症シーズンにオマリズマブからテゼペルマブへのスイッチングが有効であった重症喘息の1例**
長野 昭近¹、中島 康博^{1,2}、金廣 有彦¹ (社会医療法人財団聖フランシスコ会姫路聖マリア病院¹、兵庫医科大学病院 呼吸器・血液内科学²)
- O-61 NERD に対し Benralizumab を Tezepelumab に切り替え、喘息・副鼻腔炎症状に奏功した1例**
山下 優雅¹、仲出川 諒¹、増満日菜子¹、長田怜永子¹、高安 宏和¹、増本 菜美^{1,2}、金子 猛²、釣木澤尚実^{1,2} (NHO 横浜医療センター呼吸器内科¹、横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学²)
- O-62 抗体製剤を中心とした喘息地域医療連携ネットワークの報告**
延山 誠一¹、高田 弘樹²、田中 祐貴³、守口 誠⁴、村川 紘介⁵ (関西医科大学香里病院¹、たかだ耳鼻咽喉科・小児科クリニック²、ゆうき内科・スポーツ内科³、守口耳鼻咽喉科⁴、むらかわ内科⁵)
- O-63 重症喘息に対する生物学的製剤の包括的な治療効果に関する検討**
山村 健太、原 文介、古林 崇史、武田 仁浩、大倉 徳幸、阿保 未来、矢野 聖二 (金沢大学附属病院 呼吸器内科)
- O-64 重症喘息患者における生物学的製剤による下気道粘液栓の変化とその臨床的意義の検討**
丸毛 聡¹、塚本 信哉¹、林 優久^{1,2}、森本 千絵¹、福井 基成¹ (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院呼吸器内科¹、京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座²)
- O-65 気管支喘息における生物学的製剤の投与間隔延長を行った症例の特徴**
原田 智也、岡崎 亮太、山崎 章 (鳥取大学医学部附属病院 呼吸器内科・膠原病内科)

一般演題 9

7月23日(日) 15:40～16:30

○

「疫学II」

座長：山口 史博 (昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科)

渡辺 徹也 (大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学)

- O-66 リサーチモニター集団における成人喘息有病率の経年変化：2010年から2023年の推移**
古川 喜寛¹、福富 友馬¹、上出 庸介¹、関谷 潔史¹、中谷 英仁²、手塚純一郎³、谷口 正実¹ (国立病院機構相模原病院 臨床研究センター¹、静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科²、福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科³)
- O-67 当院に於ける重症難治性喘息の有病率と表現型の検討**
佐野 博幸^{1,2}、佐野安希子²、岩永 賢司¹、東田 有智¹ (近畿大学病院アレルギーセンター¹、近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科²)
- O-68 喘息の臨床的寛解はQoLと関連し、QoLには症状が寄与する**
竹下 裕理、杉本 直也、田中悠太郎、永田 真紀、上原 有貴、服部 沙耶、石塚 眞菜、鈴木 有季、井本早穂子、豊田 光、小林このみ、石井 聡、長瀬 洋之 (帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学)
- O-69 軽症 / 中等症喘息における臨床的寛解達成率と寛解非達成の臨床背景の検討**
石塚 眞菜、杉本 直也、田中悠太郎、永田 真紀、上原 有貴、服部 沙耶、鈴木 有季、井本早穂子、竹下 裕理、豊田 光、小林このみ、石井 聡、長瀬 洋之 (帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学)
- O-70 生物学的製剤を投与した難治性喘息患者の臨床的寛解率についての検討**
力丸 真美、齋藤 純平、鈴木 康仁、福原 敦朗、河俣 貴也、東川 隆一、佐藤 佑樹、二階堂雄文、福原奈緒子、谷野 功典、柴田 陽光 (福島県立医科大学附属病院)
- O-71 重症喘息における T2-targeting biologics の clinical remission 達成率**
松本周一郎、藤野 直也、小野 祥直、鈴木真奈美、今野 周一、遠藤 卓人、齋藤 拓矢、佐野 寛仁、京極 自彦、相澤 洋之、市川 朋宏、山田 充啓、小荒井 晃、玉田 勉、杉浦 久敏 (東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野)
- O-72 診療所におけるバイオ製剤選択基準の検討**
品田 純 (しなだ呼吸器循環器クリニック)
- O-73 開業医を対象とした喘息治療生物学的製剤自己注射についてのアンケート調査結果**
渡邊 直人^{1,2} (聖隷横浜病院アレルギー内科¹、東京アレルギー・呼吸器疾患研究所²)

一般演題 10

7月23日(日) 16:40～17:30

○

「検査・症例」

座長：渡邊 直人（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 アレルギー内科）
鈴木 慎太郎（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

O-74 血清の酸化ストレスは ACO の重症度や全身性炎症を反映する

中本啓太郎^{1,2}、渡辺 雅人¹、齋藤 正興¹、春日 啓介¹、宮岡 智花¹、吉田 悠貴¹、布川 寛樹¹、麻生 純平¹、中元 康雄¹、石田 学¹、本多紘二郎¹、高田 佐織¹、皿谷 健¹、下田 真史²、田中 良明²、早乙女幹朗²、大田 健²、石井 晴之¹（杏林大学医学部呼吸器内科学¹、公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器内科²）

O-75 気管支喘息患者の重症度と喀痰粘弾性の検討

小川 晴彦¹、内田 由佳¹、伊藤 一洋²（金沢春日クリニック¹、NHLI・Imperial College London・United Kingdom²）

O-76 Type2 Biomarker によるフェノタイプ分類に基づいた重症喘息のアレルゲン感作の検討

星野 佑真^{1,2}、杣 知行^{1,2,3}、朝戸 健^{1,2}、石井 玲奈^{1,2}、宇野 達彦^{1,2}、片山 和紀^{1,2}、関谷 龍^{1,2}、家村 秀俊^{1,2}、内藤恵里佳^{1,2}、宮内 幸子^{1,2}、内田 義孝^{1,2}、中込 一之^{1,2}、永田 真^{1,2}（埼玉医科大学 呼吸器内科¹、埼玉医科大学 アレルギー科²、埼玉医科大学予防医学センター³）

O-77 成人真菌感作喘息における *Aspergillus fumigatus* 感作の肺機能および2型炎症と気道過敏性に対する影響

今岡 通巖（一般財団法人創精会 松山記念病院内科）

O-79 喘息発作の改善後に IgE 値が著明に低下した1例

神野 恵美、山本 成則、後藤 唯子、相良 博典（昭和大学 呼吸器・アレルギー内科）

O-80 気管支サーモプラスティ後に生物学的製剤を中止できた2症例の報告

寺田 純子¹、塚田 晃成¹、草場 勇作¹、石田あかね¹、辻本 佳枝¹、飯倉 元保²、放生 雅章（国立国際医療研究センター病院¹、藤沢市民病院²）

O-81 当院における気管支サーモプラスティ（BT）の長期的有効性および安全性の検討

眞鍋 亮、大田 進、能條 眞、楠本壮二郎、田中 明彦、相良 博典（昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門）

O-78 好酸球増多の原因として寄生虫感染が考えられる1例

山口 正雄、會田 啓介、白神 梨沙、萩谷 政明（帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（呼吸器））